令和8年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】

上尾市立東中学校

上尾市立東中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標	学校課題研究主題
志を持って学ぶ　たくましい　心と体の東中生	「学びの循環を目指した 協働する力の育成」 ～学ぶ喜びを感じよう～

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査	R８埼玉県学力・学習状況調査	R７上尾市立小・中学校学力調査
【国語】正答率は全国および県の平均を上回っており、バランスのよい学力の定着がみられる。特に、文章理解や情報処理能力に強みがある。知識・技能面の定着にやや課題を残している。 【数学】全国・県平均と比較してバランスの取れた学力形成が確認できる。「図形」「データの活用」分野に強みがある。「反比例」「関数」「同類項」「数学的説明」に課題が見られる。 【英語】知識の活用や、まとまりのある文章を「書く」表現力など言語活動の定着が窺える。場面や状況に応じた必要な情報の聞き取りなど、「聞く」領域に明確な課題が残る。	【国語】全学年ともに県の数値と同等か上回っている。昨年度から伸びている項目も多いが、学年により偏りがある。領域別では、1，2学年は「書くこと」、3学年は「読むこと」にやや課題がある。 【数学】学力レベルは昨年度から伸びており、県の数値も上回っている。どの学年も「数と式と関数」は定着が見られるが、学習方略の「努力感覚方略」や「作業方略」などが伸び悩んでいる。 【英語】3学年の学力レベルが3ポイント伸びている。「短答式」「記述式」は正答率が平均を上回っているが、記述式では無解答があるのが課題である。また、並べ替え問題にもやや課題がある。	【国語】1年生、2年生ともに全国平均と同程度の正答率であった。領域では「我が国の言語文化に関する事項」と「書くこと」にやや課題があり、解答形式では記述式に課題がある。 【数学】1年生、2年生ともに全国平均をやや上回っている。領域では1年生は「関数」、2年生は「数と式」にやや課題があり、解答形式では記述式に課題がある。 【英語】1年生、2年生ともに全国平均より大きく上回っている。領域では全体的に上回っているが、「ほかに比べると書くこと」にやや課題があり、解答形式では記述式に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を基にした、生活や授業等の様々な場面で活用することができる力	②問題発見・解決につなげていく力 ③自分の考えを形成し、文章や発話によって表現する力 ④意味や価値を創造していく力	⑤主体的に学習に取組む態度 ⑥自己の感情や行動を統制する力 ⑦自らの思考の過程を客観的に捉えることのできる力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるための反復学習の徹底。 ○物事の意義や意味を考えさせる授業の実施。 ○言語活動の充実（書く活動の徹底）により、身に付けた知識・技能を活用する活動の充実。	○学習内容（何を学ぶか）を明確にした上で、「学びの過程（どのように学ぶか）」を重視した授業の実施。 ○話合い、教え合い等、他者と協働する場面のある授業の実施。 ○「思考ツール（マインドマップ、知識構成型ジグソー法等）」を活用した授業の実施。	○生徒が興味をもつ課題と教材の充実。 ○グループ学習や体験的な活動を多く取り入れた授業の実施。 ○ワークショップを取り入れた参加型授業の実施。 ○自分の生き方、自分事として考える振り返りの充実。

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
グローバルシティズンシップ教育を総合的な学習の時間で実施している。探究的な学習活動を繰り返し行うことで、各教科で身に付けた知識や技能をより一層高めたり、学習活動への意欲を高めることに繋がっている。	○家庭学習（宿題・復習・予習）を生かす授業の創意・工夫を行う。（「まなびポケット」オンラインドリル「eboard」の説明動画や練習問題の活用等） ○保護者アンケートを実施し、授業に生かす。

2　学力向上を図る取組

（1）各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力		
知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的な知識を基にした、生活や授業等の様々な場面で活用することができる力	②問題発見・解決につなげていく力 ③自分の考えを形成し、文章や発話によって表現する力 ④意味や価値を創造していく力	⑤主体的に学習に取組む態度 ⑥自己の感情や行動を統制する力 ⑦自らの思考の過程を客観的に捉えることのできる力

教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	① ③ ⑦	①新出語句とそれに関連した語句を調べて理解する取組。 ③文学的文章の場面と場面、説明的文章の段落と段落等、部分同士の関係を明確にして文章を読み取る取組。 ⑦授業の振り返りと学習のアーカイブ化を図る取組。	
社会	① ③	①ワークシート、小テストなどを活用して、語句を確認し書き出したり、調べたりする取組。 ③基礎的・基本的知識を活用し、複数の資料を読み取りながら、自分の考えをまとめさせる、レポートなどを作成させる取組。	
数学	③ ⑦	③問題解決までの過程を自身で考えさせ、その考えを書き出したり、周りの人に伝え、表現したりする取組。 ⑦グループ活動を通して、他者の考えや意見を取り入れ、自分にとってより良い解き方や解決までの筋道を捉えさせる取組。	
理科	① ③	①小テストや単元テストを実施し、基礎学力を定着させる取組。 ③グループワークやレポート発表などを通して、自らの言葉で科学的思考を説明・表現していく取組。	
外国語	① ③	①語句や表現を身に付け、設定された場面で活用する取組。 ③英語の文章や会話に応じて適切な表現で返答したり、自分の考えを書いたり話したりする取組。	
音楽	② ③	②よりよい合唱をつくり上げるため、自ら課題を見つけてパート練習を行う取組。 ③鑑賞で、音楽から知覚したことと感受したこととを自分の言葉で表現する取組。	
美術	③ ④	③制作やグループワーク、スケッチブックの記入を通して、自分の考えを表現する取組。 ④自分の考えを深めそれを作品として表現する取組。	

技術	③ ④ ⑤	③問題解決までの過程を自身で考えさせ、その考えを書き出したり、周りの人に伝え、表現したりする取組。 ④製品の持つ意味や価値について理解し、新しい意味や価値のある製品を創造できる取組。 ⑤生徒が興味関心の高い教材を取扱い、主体的に取組む態度を育てる取組。	
家庭	① ③	①製作に加えて、部分的な基礎縫い練習の時間を設ける取組。 ③自分の考えを形成し、周りの人と相談したり、アドバイスし合ったりしながら学習を進める取組。	
保健体育	③ ⑤	③学習カードを用いて自ら学んだことや考えたこと、感じたことをまとめたり、ペアやグループで取り組んだ内容やアドバイスを言葉や文字にしたりする取組。 ⑤授業の導入を工夫することによって生徒が自ら学習に取り組む態度を養う取組。	
特別の教科　道徳	② ⑥	②自身の生活を振り返り、グループでの話し合いなどを通して様々な視点に気付く取組。 ⑥道徳的問題を自分事として捉え、探求していく取組。	
特別支援	③ ⑥	③毎日の日記、授業のふりかえり、グループワークなどを通して自分の考えをまとめ、表現する力を養う取組。 ⑥自立活動を通して、自分の感情との向き合い方や行動をコントロールする力を身につける取組。	

A･･･取組の効果が十分に見られた　B･･･今後も課題として取り組む　C･･･取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
総合的な学習の時間（グローバルシティズンシップ教育）	○持続可能な社会づくりの担い手の育成 探究的な学習活動を繰り返し行うことで、各教科で身に付けた知識や技能をより一層高めたり、学習活動への意欲を高めることに繋がっている。
読書活動の充実	○読書習慣を身に付けさせるために図書館の利用を奨励し継続的な活用を促す。学年図書の設置、昼の放送等を利用した新刊図書の周知等、読書活動の啓発に努める。
学習環境の整備	○掲示物の工夫、清掃活動の徹底、下校時の教室整備の点検活動など学習環境の整備をする。
道徳教育の充実	○担当教諭が持ち回りで行うローテーション道徳の実施 ○全校が同時期に同じ題材で行う命の授業の実施
特別活動の充実	○体験学習や係委員会・学校行事を通して、責任をもち自ら考え行動できる力を育成する。
部活動への参加	○部活動に積極的に参加させ、気力・体力を育成し粘り強く学習に取り組む態度を育てる。
小中連携の推進	○小中合同研修の実施。 ○連携をもとに教育課程の見直しを図り、小学校から中学校へのスムーズなつながりをつくる。
家庭教育との連携	
家庭学習の充実	○学年ごとにシラバスを含む家庭学習の心得をつくり、家庭学習の方法を理解し継続的に学習し、学習内容を定着させる。
学校公開の取組	○授業公開等を通じて学力向上推進状況の理解を深める。 ○保護者アンケートを実施し、授業改善に努める。